

## S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、S&P 米国指数メソドロジーと、破綻した米国上場証券のプライシングに対する変更を発表

ニューヨーク、2017年7月31日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）は本日、S&P 米国指数及び S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジーに対するアップデートを発表しました。

S&P DJI は、次のメソドロジーの変更を即時有効とし、これを実施します。

- 1. 複数シェア・クラス構造を有する企業の適格性**：複数シェア・クラス構造を有する企業は、もはや S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数に採用される資格がありません。ただし、S&P コンポジット 1500 指数の既存の構成銘柄は適用外であり、今回の変更による影響を受けません。複数シェア・クラス構造を有する企業は引き続き S&P トータル・マーケット指数及びその他の指数に採用される資格があります。公に取引される別のシェア・クラスを指数のシェア・クラスの保有者に発行する S&P コンポジット 1500 指数構成企業に関して、そのイベントが義務的であり、配分される時価総額が最小限のものであると見なされない場合、新たに発行されるシェア・クラス・ラインは、指数に採用されると見なされます。S&P 及びダウ・ジョーンズのブランドを冠するその他の指数は今回の変更による影響を受けません。

複数シェア・クラス構造を有する企業は、議決権やガバナンス問題に関して異なる株主クラスを平等に取り扱わないコーポレート・ガバナンス構造を有する傾向があります。したがって、S&P DJI の米国指数委員会では、これらの構造タイプを有する企業をもはや S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数 (S&P 500 など) の将来の入替候補企業として検討しない方針です。

- 2. S&P コンポジット 1500 指数のコンポーネン指数間の移動**：S&P コンポジット 1500 指数の構成銘柄は、財務面の存続能力、浮動株比率、及び(または)流動性の適格性などの基準を満たすことなしに、S&P コンポジット 1500 指数の 1 つのコンポーネン指数 (すなわち、S&P 500、S&P 中型株 400 指数、及び S&P 小型株 600 指数) から別のコンポーネン指数に移動される場合があります。ただし、指数委員会が当該移動により市場ベンチマークとしてのその指数の代表性が強化されると判断した場合に限られます。

現在の S&P コンポジット 1500 指数構成銘柄からスピンオフされる企業は、外部から指数に追加される場合の基準を満たす必要はないものの、追加される指数の時価総額合計基準を満たす必要があります。スピンオフ前に親指数の一部であったこれらの企業が S&P コンポジット 1500 指数に留まることが認められることで、売買回転率を極力最小限に抑えるという指数委員会の目標に見合うこととなります。

- 3. 以前に除外された企業を S&P コンポジット 1500 指数に追加する場合の待機期間**：S&P コンポジット 1500 指数から除外された企業 (任意及び破綻による上場廃止を含む) を入替候補として再検討する場合、指数からの除外日から最低 1 年間の待機期間が必要となります。

4. **S&P コンポジット 1500 指数の本籍地基準からコーポレート・ガバナンス構造基準を除外する**: S&P DJI では、米国企業が米国の慣行と一致するコーポレート・ガバナンス構造を有する必要があるといった本籍地要件を除外する方針です。適格証券に対する S&P DJI の基準(上場要件や組織構造など)が米国の慣行と一致するコーポレート・ガバナンス構造の代替として使用されているため、この基準は不必要であると言えます。
5. **主要取引所の上場銘柄は S&P コンポジット 1500 指数の適格性基準を満たしている**: インベスターズ・エクスチェンジ(以下「IEX」という)に上場している適格証券は現在、S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数への採用基準を満たしていると考えられます。

S&P コンポジット 1500 指数の目的上、適格証券には、ニューヨーク証券取引所(NYSE)、NYSE アーカ取引所、アメリカン証券取引所、ナスダック・グローバル・セレクト・マーケット、ナスダック・セレクト・マーケット、ナスダック・キャピタル・マーケット、Bats BZX、Bats BYX、Bats EDGA、Bats EDGX、及び IEX などの取引所に上場されている全ての米国の普通株式が含まれます。

6. **破綻 - 米国上場証券のプライシング**: 米国の上場株が指数からの除外日前に主要取引所から店頭取引(OTC)市場に移行した場合、取引所の移動の理由(破綻、自発的な上場廃止、コンプライアンス以外の問題など)にかかわらず、取引所の移動の時から指数からの除外日まで、指数の目的の上、OTC 価格(該当する場合、最終清算数値を含む)が株式を値付けするために使用されます。株式は OTC に移動したものの、指数からの除外日前に OTC で取引されなかった場合、株式はゼロ価格で除外されます。以前は、破綻企業が指数からの除外日に主要取引所で取引されなかった場合、破たん企業はゼロ価格で除外されました。

変更の概要は以下の通りです:

変更事項	マドロー	
	以前	アップデート
複数シェア・クラス構造を有する企業を S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数から除外する	複数シェア・クラス構造を有する企業は、S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数に採用される資格があった。	複数シェア・クラス構造を有する企業は、S&P コンポジット 1500 指数及びそのコンポーネント指数に採用される資格がない。ただし、複数シェア・クラス構造を有する既存の構成銘柄は適用外となる。
S&P コンポジット 1500 指数の 1 つのコンポーネント指数から別のコンポーネント指数に移動する	---	現在の S&P コンポジット 1500 指数構成銘柄は、財務面の存続能力、浮動株比率、及び(または)流動性の適格性などの基準を満たすことなしに、S&P コンポジット 1500 指数の 1 つのコンポーネント指数(すなわち、S&P 500、S&P 中型株 400 指数、及び S&P 小型株 600 指数)から別のコンポーネント指数に移動される場合がある。ただし、指数委員会が当該移動により市場ベンチマークとしてのその指数の代表性が強化されると判断した場合に限られる。  現在の S&P コンポジット 1500 指数構成銘柄からスピンアウトされる企業は、外部から指数に追加される場合の基準を満たす必要はない。

変更事項	メソドロジー	
	以前	アップデート
以前に除外された企業が S&P コンポジット 1500 指数に追加される場合の待機期間	---	S&P コンポジット 1500 指数から除外された企業(任意及び破綻による上場廃止を含む)を入替候補として再検討する場合、指数からの除外日から最低 1 年間の待機期間が必要となる。
S&P コンポジット 1500 指数の本籍地基準からコーポレート・ガバナンス構造基準を除外する	指数の目的上、米国企業は米国の慣行と一致するコーポレート・ガバナンス構造を有する必要がある	---
主要取引所の上場銘柄は S&P コンポジット 1500 指数の適格性基準を満たしている	適格証券には、ニューヨーク証券取引所 (NYSE)、NYSE アーカ取引所、アメリカン証券取引所(以前の NYSE MKT)、ナスダック・グローバル・セレクト・マーケット、ナスダック・セレクト・マーケット、ナスダック・キャピタル・マーケット、Bats BZX、Bats BYX、Bats EDGA、及び Bats EDGX などの取引所に上場されている全ての米国の普通株式が含まれる。	適格証券には、ニューヨーク証券取引所 (NYSE)、NYSE アーカ取引所、アメリカン証券取引所、ナスダック・グローバル・セレクト・マーケット、ナスダック・セレクト・マーケット、ナスダック・キャピタル・マーケット、Bats BZX、Bats BYX、Bats EDGA、Bats EDGX、及び IEX などの取引所に上場されている全ての米国の普通株式が含まれる。
破綻 - 米国上場証券のブラッキング	証券が除外される日の取引終了時点において主要取引所で取引されていた場合、その株価が使用される。証券が主要取引所で取引停止されているか、または主要取引所から上場廃止されている場合、ゼロ価格が使用される。	米国の上場株が指数からの除外日前に主要取引所から店頭取引 (OTC) 市場に移行した場合、取引所の移動の理由 (破綻、自発的な上場廃止、コンプライアンス以外の問題など)にかかわらず、取引所の移動の時から指数からの除外日まで、指数の目的の上、OTC 価格(該当する場合、最終清算数値を含む)が株式を値付けするために使用される。株式は OTC に移動したものの、指数からの除外日前に OTC で取引されなかった場合、株式はゼロ価格で除外される。

詳細については、S&P 米国指数及び S&P DJI の株価指数方針及び実務メソドロジーを参照ください。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) をご覧ください。

## S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500<sup>®</sup> 及びダウ・ジョーンズ工業株平均<sup>®</sup> といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。1,000,000 超の指数や、革新的で透明性のあるソリューションを130年以上にわたり構築してきたことにより、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資家が市場を測定し、売買する方法を定義しています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI) のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、[www.spdji.com](http://www.spdji.com) をご覧ください。

### お問い合わせ:

#### **Soogyung Jordan**

コミュニケーション部門のグローバル・ヘッド

ニューヨーク、米国

(+1) 212 438 2297

[soogyung.jordan@spglobal.com](mailto:soogyung.jordan@spglobal.com)

#### **Luke Shane**

北米コミュニケーション部門

ニューヨーク、米国

(+1) 212 438 8184

[luke.shane@spglobal.com](mailto:luke.shane@spglobal.com)

#### **Haw-Yan Man**

欧州・中東・アフリカ (EMEA) コミュニケーション部門

ロンドン、英国

(+44) 207 176 3023

[haw-yan.man@spglobal.com](mailto:haw-yan.man@spglobal.com)

#### **Cecilia Ho**

アジア太平洋コミュニケーション部門

香港、香港

(+852) 2532 8061

[cecilia.ho@spglobal.com](mailto:cecilia.ho@spglobal.com)